



女性会

Business Women's Club

1月 新年例会報告

1月16日(金)、1月の新年例会が開催されました。2026年になり第一回目ということで、茨木商工会議所の栗尾会頭、井上副会頭、望月副会頭、笹井専務理事もご参加くださり、合計33名にて開催されました。



会長挨拶

会頭挨拶

副会頭乾杯

小西会長の新年ご挨拶に続き、昨年11月新しく就任された栗尾会頭も午年にちなんだお話を頂き、働いて前進、飛躍していく年にとのお話を頂きました。井上副会頭の乾杯のあいさつの後、食事が始まり、毎回恒例のお誕生日会は12月～3月までの合計15名の方々が対象で、それぞれ今年の抱負、年末年始の出来事など話題も豊富で、和やかな食事会となりました。

その後、講演会では直木賞作家の朝井まかて先生をお招きしました。朝井先生は作家デビューが49歳で遅咲きと言われつつ、2014年に直木賞を受賞後、毎年といっていいほど数々の文学賞を受賞され、今年1月にも新刊を発売されるなど精力的に活動をされています。普段あまり講演活動などはお受けにならない先生ですが、今回は女性会役員の方が大学時代からの親友で長いお付き合いというご縁があり、特別にお引き受け下さいました。



講師：朝井まかて氏

今回、「江戸時代の女たち～その仕事と暮らし～」というタイトルで、武家の女性から庶民の生活まで幅広く当時の考え方や流行、風習などについてお話くださいました。中でも「離婚を繰り返す女性は、箔がついた」というお話や、「趣味」や「教養(芝居、俳諧など)」に熱中し、仕事はさほど出来なくても馬鹿にされなかった、などのお話は大変興味深いものでした。



会場風景

「女、三界に家なし」といったイメージが当初はあったものの、それらは近代以降作られた概念であると聞かされ、江戸時代はもっと大らかで、率直で、豊かな時代だったのだと感じました。江戸庶民人にとっては日常にあった浮世絵が、明治以降、価値を見出されたのはむしろヨーロッパであり、ゴッホがその絵画の中に浮世絵を描いたのは有名な話。江戸時代のお話をきっかけに自国の歴史を改めて見直す良い機会となりました。

〈報告：松谷 知美〉

AEON イオンは、さまざまな社会貢献活動に取り組んでいます。



イオンデー

イオンでは、毎月11日を「イオン・デー」として、全従業員がお客さまとともに、地域社会の一員として、環境保全・社会貢献活動を行う日としています。



買物袋 持参運動



幸せの黄色いレシートキャンペーン



クリーン&グリーン活動

イオン 新茨木店

茨木市中津町18-1
Tel.072 (632) 5511